

# 人権教育シリーズ

## みんな同じ人間



神前小 六年  
サンドウ ひな タヒル

買い物の途中やスポーツ少年団での大会の時、すれ違った人の中に、私のことを指さして、こそこそ話している子が時々います。あまりいい気はしません。

私のお父さんは外国人です。先日、私はお父さんに聞いてみました。

「お父さんは日本に来て、いやな思いをしたことやつらい気持ちになったことがある？」

お父さんは、いつもとは違う表情で、話をしてくれました。

「見た目やだの色がちがうことで指をさして笑われたり、こそこそ話をされたり、ひどい時には、今まで外で話をしていたのに、急に車に乗り込み、かぎをしめられたりしたことがあるよ。マンションを借りる時は、不動産会社に何げんも断られたし、携帯電話をけい約するときは、必ず保証人が必要だった。その他にも、小さなことは今でもたくさんあるよ。」

知らない間にそんなことがたくさんあったんだと、お父さんの気持ちを思うと私まで悲しくなってきました。みんな同じ人間なのに、外国から来たというだけで、そんな経験をしてきたとは…。でも、私のお父さんは、何も気にしていません。お父さんの国では、もったきびしい差別がたくさんあると教えてくれました。お父さんは日本のことをこう言っています。

「差別する人もいるけれど、そんな人はほんの少しだけで、たいいの人はとても親切に接してくれるよ。日本の人たちは、優しい人たちがばかりだよ。」

私の周りの友だちもそうです。指さしてこそこそ話をする子は、私を知らない子たちだけで、私を知っている友だちは、特別扱いなどはせず、普通に優しく接してくれます。つらい思いをしている私に気づいて、元気づけたり、いろんな声をかけたりしてくれます。そんな時は、知らない人からされたことよりも、よく知っている友だちの優しさや思いやりをすごく感じます。お父さんもきっと同じ感じなんだと思います。

同じ人間どうしがおたがいをみとめ合い、良い部分を見ることができれば、人を見た目で比べることがなくなり、良い環境になるでしょう。私は、日本がそんな国になることを願います。

そのために、今の私にできることはあいさつだと思いました。他の人の考え方を変えることはなかなか難しいけれど、私を知ってもらうことはできそうです。コミュニケーションの第一歩として、いつでも、誰にでも、気持ちのいいあいさつを心がけています。スポーツ少年団のコーチも「あいさつが一番大事」と言っています。他のチームのかんとくやコーチ、対戦相手とも、勝敗に関係なくあいさつをしています。それを続けることで、私のことを指さして、こそこそ話している子はきっと減っていくと信じています。

【問】人権推進課 ☎(087)894.9088

## 言葉の使い方をちょっと工夫してみませんか？

「YOU(あなた)メッセージ」と「I(私)メッセージ」と「We(私たち)メッセージ」

YOU メッセージ	I メッセージ	We メッセージ
また、散らかしっぱなし！ 片付けなさい！	片づけてくれるとすごく助かるな	みんなが片付いた部屋を見たら びっくりすると思うわ

### ●「私」を主語にした言い方を心がけると…

子どもがなかなか片付けをしないとき、「(あなたは)また散らかしっぱなしね！早く片付けなさい！」とつい言っていますか？この言葉は相手を主語とした「YOUメッセージ」ですが、これには「○○すべき」という気持ちや相手を責めるニュアンス(どうして言われなくていけないのか)が感じられませんか？ 売り言葉に買い言葉で、子どもからは「うるさいなあ」「今やろうと思っていたのに」と返ってくるかもしれません。

こんなときに「私」を主語にして、「そろそろ夕ご飯のしたくをしたいから、片付けてくれると助かるな」と言えば「私」の気持ちとして相手に伝わりやすくなります。その場にはいない人たち(We)の気持ちも添えると充実感・達成感を感じます。言葉だけでなく、考え方も「Iメッセージ」「Weメッセージ」の形で考えると気持ちが楽になるのではないのでしょうか。



★ 12月のKimama♡Garden

15日(土) 10:00~11:30  
 内容: クリスマス工作&フリートーク  
 場所: オープンガーデン癒しハウス  
 (さぬき市津田町津田2858)



家庭教育が人生のカギ



【問】生涯学習課 ☎(0879)42-3107